

- 問1 宮崎県の産業構造や農業の特徴について述べた文として、統計的な背景から判断して最も適切なものはどれですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
1. 亜熱帯の気候条件を活かし、サトウキビやマンゴーなどの商品作物の栽培と、冬の温かさを利用した観光業に特化している。
 2. 温暖な気候や広大な土地を背景に、農業産出額の半分以上を畜産業が占めており、製造業よりも第1次産業の比重が相対的に高い。
 3. 瀬戸内工業地域の一角を担っており、化学工業や機械工業などの製造品出荷額が、農業産出額を大幅に上回っている。
 4. 急峻な傾斜地を利用した段々畑において、みかんやいよかんなどの果樹栽培が盛んで、農業産出額の大部分を占めている。
- 問2 日本の諸都市の気象データにおいて、一月の平均気温が十度前後と高く、かつ七月の月降水量が三百五十ミリメートルを超える非常に多い降水量を示す都市として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 福井県公立入試 類似)
1. 金沢市
 2. 宮崎市
 3. 札幌市
 4. 大阪市
- 問3 福岡県の産業と言えば、かつては北九州工業地帯の重化学工業が中心でしたが、近年では県庁所在地である福岡市などの都市部を中心に、どのような産業の集積が進んでいますか。適切なものを選びなさい。 (2021年 東京都公立入試 類似)
1. 火山灰が堆積した土地を利用した大規模な酪農
 2. 情報通信やソフトウェア設計
 3. ビニールハウスを用いた促成栽培による園芸農業
 4. 冷涼な気候を活かした食料品製造業
- 問4 日本の諸地域のうち、九州地方の農業産出額の内訳をまとめた統計において、米や野菜の割合を上回り、全体の約40%という最も高い割合を占めている部門として正しいものはどれですか。 (2026年 秋田県公立入試 類似)
1. 麦類
 2. 工芸作物
 3. 畜産
 4. 果樹
- 問5 鹿児島県などの地形図に見られる、標高の低い谷状の土地の利用について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 傾斜が急で水の確保が難しいため、主に森林として利用される。
 2. 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。
 3. 平坦で広大な面積を確保しやすいため、大規模な工業団地が造成される。
 4. 土壌の通気性を確保するため、水田ではなく果樹園として利用される。
- 問6 宮崎平野や高知平野の位置が示された地図において、これらの地域で温暖な気候を利用し、ビニールハウスなどを使って野菜の出荷時期を通常より早める工夫が見られる場合、この農業形態は何と呼ばれるか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 促成栽培
 2. 抑制栽培
 3. 近郊農業
 4. 企業的農業
- 問7 鹿児島県において、県庁所在地の周辺に広がり、大規模な住宅団地などが造成されている、火山噴出物が堆積して形成された台地を何と呼びますか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
1. シラス台地
 2. 牧之原台地
 3. カルスト台地
 4. 武蔵野台地
- 問8 日本の主な工業地帯・地域を比較した統計資料において、製造品出荷額の総額が約8.5兆円と他の大工業地帯に比べて規模が小さく、産業構成の割合が機械工業約41.1%、金属工業約17.9%、食料品工業約16.5%となっている工業地帯はどこですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
1. 京浜工業地帯
 2. 阪神工業地帯
 3. 北九州工業地帯
 4. 中京工業地帯
- 問9 日本の九州地方に位置するある県では、農業産出額の構成において「米」や「野菜」と比較して「畜産」が占める割合が非常に高く、全体の約半分に達するという特色があります。肉用牛、豚、鶏の飼育が盛んなこの県はどこですか。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
1. 宮崎県
 2. 青森県
 3. 新潟県
 4. 埼玉県
- 問10 日本の諸地域に見られる伝統的な住居の工夫について述べた次の文のうち、南西諸島の特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
1. 地面から床を高くした高床式の構造にすることで、地面からの湿気を通さないようにしている。
 2. 住居の北側や西側に「防風林(屋敷林)」を植えることで、冬の厳しい寒風を防いでいる。
 3. 屋根の傾斜を急にし、厚い茅(かや)で葺くことで、雪が滑り落ちやすくしている。
 4. 敷地の周囲を石垣で囲い、屋根には赤瓦を用いてその隙間を漆喰で固めている。
- 問11 1980年から2000年にかけての九州地方における工業出荷額の内訳の変化について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)
1. 食料品などの生活関連型産業が急増し、工業出荷額において電気機械を上回り首位となった。
 2. 石油化学コンビナートの増設により、化学工業の出荷額が電気機械の出荷額を大きく引き離れた。
 3. 加工組立型産業が海外移転により衰退し、再び鉄鋼や化学などの重化学工業が中心となった。
 4. 鉄鋼や化学などの基礎素材型産業の割合が減少し、電気機械などの加工組立型産業の割合が増加した。
- 問12 福岡県内の主要都市を比較した際、福岡市は県全体の面積割合が約6.9パーセントであるのに対し、人口割合は約31.4パーセントを占めています。このような都市の状況を説明した文として最も適切なものを、次のうちから選びなさい。 (2023年 岡山県公立入試 類似)
1. 県全体の面積に占める割合が大きいため、人口が多くても人口密度は低く保たれている。
 2. 県全体の面積に占める割合は小さいが、人口が高度に集中しており、人口密度が極めて高い。
 3. 面積割合に比べて人口割合が低いいため、都市部でも過疎化の問題が顕著になっている。
 4. 広大な面積を活かして人口が分散しており、県内各地で均等な人口割合となっている。
- 問13 農業産出額が約4435億円にのぼる鹿児島県の産業統計において、その約64%にあたる約2837億円を占めている、この県の農業を象徴する部門は何ですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 肉用牛や豚、鶏などの畜産
 2. 温室などを利用した促成栽培による野菜
 3. 大規模なかんがい施設を利用した米づくり
 4. サトウキビや茶などの工芸作物
- 問14 日本国内にあるアメリカ軍の専用施設の面積のうち、約70パーセントが集中して置かれている都道府県はどこですか。 (2023年 北海道公立入試 類似)
1. 鹿児島県
 2. 長崎県
 3. 沖縄県
 4. 神奈川県
- 問15 九州地方の北西部に位置するある県は、東側を福岡県、西側を長崎県に挟まれており、北側は対馬海流が流れる玄界灘、南側は日本最大の干満差で知られる有明海という、特徴の異なる二つの海に面しています。この条件に当てはまる県はどこですか。 (2025年 静岡県公立入試 類似)
1. 長崎県
 2. 佐賀県
 3. 大分県
 4. 熊本県

答え合わせ・解説

問1	答え 2 温暖な気候や広大な土地を背景に、農業産出額の半分以上を畜産業が占めており、製造業よりも第1次産業の比重が相対的に高い。	宮崎県は九州南部に位置し、黒潮の影響を受けた温暖な気候に恵まれています。この気候を活かした促成栽培のほか、広大な土地での肉用牛や豚、鶏の飼育といった畜産業が極めて盛んです。宮崎県の農業産出額の構成を見ると、畜産が圧倒的な割合を占めている点が、工業化が進んだ岡山県や果樹農業に特化した愛媛県、亜熱帯農業が中心の沖縄県との決定的な違いです。
問2	答え 2 宮崎市	太平洋側に位置する宮崎市は、沖合を流れる暖流の黒潮（日本海流）の影響を受けるため、冬でも一月の平均気温が十度前後と温暖な気候になります。また、夏から秋にかけては、湿った南東の季節風や台風の影響を強く受けるため、七月の降水量が三百五十ミリメートルを超えるなど、全国的にも極めて降水量が多いのが特徴です。札幌市は一月の気温が氷点下となり、金沢市は冬の降水量が多く、大阪市は宮崎市ほどの降水量には達しません。
問3	答え 2 情報通信やソフトウェア設計	福岡県は九州地方の経済の拠点であり、人口約154万人を擁する県庁所在地の福岡市などを中心に、高度な技術や知識を必要とするソフトウェア設計や情報通信関連の企業が数多く進出しています。これは、都市部に優秀な人材が集まりやすく、オフィスや通信環境が整っているためです。なお、促成栽培は宮崎県、大規模な酪農は北海道などで盛んな産業です。
問4	答え 3 畜産	九州地方、特に南九州では、火山灰が積み重なってできたシラス台地が広がっています。この土地は水持ちが悪く稲作にはあまり適していなかったため、畑作や肉用牛、豚、鶏などの飼育が盛んに行われるようになりました。その結果、全国的にも畜産の割合が非常に高いという特色を持っています。
問5	答え 2 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。	低地や谷状の地形は、河川からの取水や周囲からの湧水が得やすく、水利条件が良いのが特徴です。そのため、地図記号においても「水田」を示す記号が描かれることが一般的です。一方で、森林や工業団地などは、排水条件や地盤の安定性、広大な用地確保の観点から別の場所が選ばれる傾向にあります。
問6	答え 1 促成栽培	温暖な気候を利用して野菜の成長を早め、市場に野菜が少ない時期に出荷する栽培方法です。宮崎県のピーマンやきゅうり、高知県のなすなどが代表的です。対して、長野県や群馬県などの高冷地で出荷を遅らせる方法は抑制栽培と呼ばれます。
問7	答え 1 シラス台地	南九州に広く分布する、火砕流堆積物が重なってできた台地をシラス台地と呼びます。水持ちが悪いため稲作には不向きですが、鹿児島市周辺では宅地造成が進み、多くの市民が暮らす住宅地となっています。なお、カルスト台地は山口県の秋吉台などが有名で、牧之原台地は静岡県のお茶の産地として知られています。
問8	答え 3 北九州工業地帯	北九州工業地帯は、中京工業地帯（約54.6兆円）や阪神工業地帯（約31.0兆円）などの他の四大工業地帯と比較して、出荷額の規模が最も小さいことが統計上の特徴です。産業構成では、歴史的な背景から金属工業のイメージが強いものの、現代のデータでは機械工業が最大の割合を占めており、次いで金属、食料品の順になっています。この構成比と総額の規模感から判断することが求められます。
問9	答え 1 宮崎県	九州地方南部に位置する宮崎県は、シラス台地などの火山灰層が広がる地形的制約もあり、古くから広大な土地を活かした畜産業が発展してきました。全国でも有数の農業産出額を誇り、特に肉用牛や豚、ブロイラー（鶏）の生産で全国トップクラスのシェアを占めています。他の選択肢について、新潟県は米、青森県は果実（りんご）、埼玉県は近郊農業による野菜の産出額割合が高いのが特徴です。
問10	答え 4 敷地の周囲を石垣で囲い、屋根には赤瓦を用いてその隙間を漆喰で固めている。	南西諸島の伝統的な民家は、サンゴ礁を利用した石垣で囲まれていることが多く、これは台風などの強風から家を守る役割を果たしています。また、屋根には風に強いとされる赤瓦が使われ、さらに瓦が吹き飛ばされないよう漆喰で継ぎ目を固めているのが外観上の大きな特徴です。急勾配の屋根は白川郷などの合掌造り、防風林は関東平野や平居などで見られる工夫です。
問11	答え 4 鉄鋼や化学などの基礎素材型産業の割合が減少し、電気機械などの加工組立型産業の割合が増加した。	九州地方では、かつて北九州工業地帯を中心に鉄鋼や化学といった「基礎素材型産業」が盛んでしたが、1980年代以降、空港周辺や高速道路沿いにIC（集積回路）などの工場が進出したことで「シリコンアイランド」と呼ばれるようになりました。これにより、電気機械や輸送用機械に代表される、部品を組み立てて製品を作る「加工組立型産業」の割合が大きく上昇し、産業構造の転換が起きました。
問12	答え 2 県全体の面積に占める割合は小さいが、人口が高度に集中しており、人口密度が極めて高い。	福岡市は福岡県内において、面積の割合に比べて居住する人口の割合が非常に高いことが特徴です。このように、限られた土地に多くの人や都市機能が集中することを「人口の集中」と呼び、単位面積あたりの人口である「人口密度」が他地域に比べて著しく高くなります。統計上、面積割合の約4.5倍もの人口割合を抱えていることから、高度な都市化が進んでいることがわかります。
問13	答え 1 肉用牛や豚、鶏などの畜産	鹿児島県は、シラス台地という地理的条件を背景に、広大な土地を活用した畜産業を主軸としています。豚の飼育頭数は全国1位、肉用牛も全国トップクラスを誇り、食料供給基地としての役割を担っています。選択肢にあるサトウキビは沖縄県や鹿児島県の離島で盛んですが、県全体の産出額の割合で見ると畜産が圧倒的です。
問14	答え 3 沖縄県	日本の国土面積に占める割合は約0.6%にすぎないにもかかわらず、在日米軍専用施設の多くがこの県に集中しています。これは第二次世界大戦後のアメリカによる統治や、地理的な重要性が背景にあります。現在も騒音問題や事故、基地負担の軽減が重要な政治課題となっています。
問15	答え 2 佐賀県	九州地方の北西部において、福岡県と長崎県の間に位置し、北と南で異なる海（玄界灘と有明海）に面しているのは佐賀県です。南側の有明海は遠浅の干潟が発達しており、ノリの養殖が盛んである一方、北側の玄界灘は対馬海流の影響を受けるなど、一つの県の中で多様な自然環境を有しているのが特徴です。